

# ◎おおさか

## 泉州

ニュースは

社部大阪総局  
TEL.06 (6633) 9734  
FAX.06 (6633) 9738

堺支局

TEL.072 (233) 0406

関西空港支局

TEL.072 (456) 7220

岸和田通信部

TEL.072 (437) 2555

北摂支局

TEL.06 (6852) 1651

高槻通信部

TEL.072 (681) 3374

池田通信部

TEL.072 (783) 1588

河内支局

TEL.072 (967) 1431

枚方通信部

TEL.072 (840) 6414

富田林通信部

TEL.0721 (23) 3895

八尾通信部

TEL.072 (999) 1445

広告のご用は

TEL.06 (6633) 9474

購読お申し込みは

TEL.0120-34-3733

折込チラシは

TEL.06 (6343) 2251

おおさか  
Network

# 地酒味わいまちおこし談議



会場の北庄司酒造店「蔵しっくホール」

泉佐野市日根野

## 泉佐野 7日スタート、来年3月まで月1回

泉佐野市日根野で80年以上続く造り酒屋の酒蔵で、地酒を味わいながら、泉州在住のまちおこしプランナーと語り合う「まちおこし地酒BAR」が、7日からスタートする。BARは来年3月まで毎月、そろそろの日に開催する。BARの、開店日は7月7日▽8月8日▽9月9日など来年3月までの「そろそろ」の日で計8回。講師は、泉佐野市在住でパソコンで絵を描く「コダタル画家」として講座も開いているダイクモトさん▽泉南市在住で地元フリーペーパーに外国人から見た泉州の魅力を連載しているダウバー・ニールさん▽岸和

田市都市景観審議会委員の奥正孝さんら8人が、月替わりで務める。会場の北庄司酒造店「蔵しっくホール」は酒蔵の2階。もとは日本酒の素となる酵母を増やしたり発酵させた母を「酒母造り」で使われ、大きな桶やタンクが置かれていたという。約15年前に地元のイベントなどで活用してもらおうと、木造りの8人掛けテーブル約10個を置くホールに改造。1階も玄関の一部スペースを地酒直売所とし、大正10年から続く同社の酒造りを感じる事ができる。初回の7日はダイクさんが「泉州名所改良計画その1」と題し、りんくう公園内のマープルビーチ（泉佐野市りんくう往来南）をポイントにまちおこしの持論を展開、参加者も意見も交

換する。午後6時半から2時間で、受講料は地酒がジュースなどドリンク付きで1500円。2杯目からは500円程度で地酒などが楽しめるという。主催の泉佐野市公園緑化協会では「地酒を味わいながら地元活性化をテーマに

談議するセミナーは初めて。多くの人に参加してほしい」と話している。これまで約10人が申し込んでいるという。初回の締め切りは6日。問い合わせは、同協会(072・475・870)。